



2024 年 11 月 13 日

農 林 中 央 金 庫

農林中金キャピタル戦略協創ファンドを通じた Klim GmbH への出資について

農林中央金庫(本店：東京都千代田区、代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」)は、農林中金キャピタル戦略協創ファンド(以下「本ファンド」)を通じて、食品関連企業向けにサプライチェーンの脱炭素化・強靱化を実現するためのカーボンインセッティング¹ソリューションを提供する Klim GmbH(本社：ドイツ ベルリン、CEO：Robert Gerlach、以下「Klim」)に出資しましたのでお知らせいたします。

○出資の背景

企業は脱炭素社会の実現に向けて、自社のみならずサプライチェーン全体の温室効果ガス排出削減が求められています。特に食品関連企業においては、排出量の多くが原材料調達活動から発生しており、生産現場と連携した脱炭素の取組みが重要な課題となっています。また、近年の気候変動は土壌劣化の進行と相まって、農作物の収量に深刻な被害を及ぼし、食品関連企業の原材料調達活動にも影響を与えています。そのようななかで、土壌の健全性を高めることで気候変動に適応し、収量の回復や土壌炭素貯留を実現する再生農業の取組みが世界的に広がりを見せています。

Klim はデジタルプラットフォームを通じて再生農業²への移行を支援し、食品関連企業のサプライチェーンの脱炭素化や強靱化を実現するソリューションを提供しています。

引き続き、当金庫は、サステナブル経営の取組みや Klim をはじめとした本ファンドによる出資を通じて、強靱な食料システムの実現に向けた、食農バリューチェーンにおける脱炭素化やネイチャーポジティブ、循環型の経済に向けたトランジションの支援に取り組んでまいります。

○出資先について

会社名：Klim GmbH

所在地：ドイツ ベルリン

設立：2020 年

事業内容：食品関連企業向けにカーボンインセッティングソリューションを提供

ホームページ：<https://www.klim.eco/en>

¹ 企業が自社のサプライチェーン内で GHG 削減に取り組むこと。

² 土壌の健康状態を高めることで、収量の回復や土壌炭素貯留、水、生物多様性へのポジティブなインパクトを与える農法。カバークロップやバイオ資材の活用、不耕起栽培等が代表的な手法。

○農林中金キャピタル戦略協創ファンドについて

本ファンドは、農林中央金庫のイノベーション投資の取組みの一貫として、AgVenture Lab³を含め、JA・JF・JForest グループのネットワークを活用しながら、「サステナブル」と「農林水産業」と「暮らし」にかかわる課題解決とゆたかな「社会」の実現に取り組む優れた国内外のスタートアップ企業へ投資を行い、グループとの協創推進等を目的とするコーポレートベンチャーキャピタルファンドです。

登記上の名称	農林中金キャピタル戦略協創1号投資事業有限責任組合 (Norinchukin Capital Strategic Co-creation Fund I Investment Limited Partnership)
無限責任組合員	農林中金キャピタル株式会社（農林中央金庫100%子会社）
有限責任組合員	農林中央金庫
投資対象	社会的意義・インパクトのある課題に取り組む Agtech、Foodtech、Fintech、Lifetech、Climatech 分野等の国内外スタートアップ企業

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班（宮澤、藏方）TEL:03-6362-7172

³ 農林中央金庫を含む JA グループ全国連 8 団体が運営するインキュベーションラボ。